

有限会社 ミマツ工芸

代表者 實松 英樹

資本金 500万円

住 所 佐賀県神埼市千代田町柳島1265番地の1

設立年月 平成元年6月

連絡先 TEL 0952-44-2455 FAX 0952-44-2469

従業員 6人

URL http://www.mscoop.jp



海外市場を視野に入れた「木」と異素材を融合した高付加価値ノベルティ商品の試作開発

木製ギフトのオリジナルブランドM.SCOOP商品を海外に販売する過程で「なぜ米国産材で作るのか」と問いかねられたことから、国産材を利用した商品製作を模索してきました。国産材は流通量が少ない上に、家具として加工しにくいというハードルがありました。そんな中、当社が長年、国産杉の丸太で製作してきた年輪時計を大手企業がノベルティとして発注し、年輪時計を見直す契機となりました。「1年に1つの輪を刻む年輪は個人が刻んできた歴史を象徴する」というコンセプト・当社が培ってきた技術と感性・日本の伝統的デザインを融合させ、吉祥文様をあしらった年輪時計・NENRINを開発しました。1本の天然木から作ることにこだわり、感謝や労いの気持ちを込めたノベルティ・贈答品として販路拡大を進めています。



Q1. 御社について教えてください。

A. こだわりの木製ギフトの開発製造を行う会社です。

代表取締役
さねまつ ひでき
實松 英樹

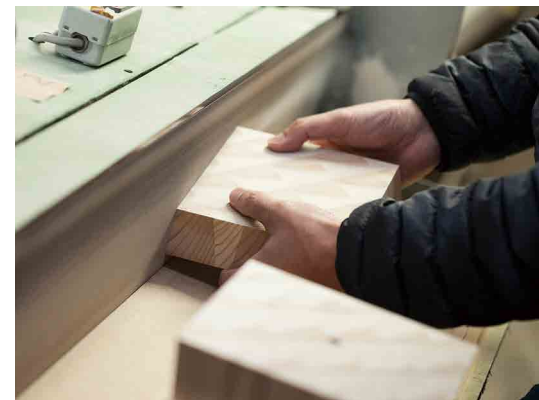


本事業への取り組みの経緯

百貨店を通じた販売や催事・展示会への出展を行う中で、バイヤーから高額ノベルティの要望が増えていました。ノベルティ商品はかつて市場販売価格で千円以内の商品のニーズが高かったのですが、近年では3千円を超える商品のニーズが高まり、4万円以上的高額ノベルティ商品も存在します。価格帯の変動と連動し、中国産の量産品ではなく、品質や信用の高さなどの理由からメイド・イン・ジャパンを求める声が高まっていました。このような背景から、当社ではオリジナリティある高額ノベルティ商品の開発に取り組ましました。

実施内容（取り組みの詳細）

高額ノベルティ商品の開発に向けて、ノベルティに必須の企業ロゴマークの刻印などに活用するためレーザー加工機を導入しました。NENRINへのロゴマークやシリアル番号の刻印は自社内でスムーズに行うことができたのですが、販売で壁にぶつかりました。軌道に乗っていたM.SCOOPの価格帯が数千円台である一方、NENRINの価格帯は1万円台から3万円台であることなどの事情でM.SCOOP愛用者への販路拡大も難しく、店舗に置いてもらったり会社に持ち込んだりしても成果が得られない日が続きました。そんな中、佐賀県立博物館の「諸富家具コレクション」や都市部の展示会で、文様入りの透明なアクリル板に掛けて展示したことで、年輪木目の美しさや作品のメッセージ性・価値が来場者に伝わり、注文が入り始めました。



取り組み成果・波及効果

ノベルティに刻印する企業ロゴマークは歪みが一切生じないことが求められます。NENRIN裏面に印刷するシリアル番号やメッセージについても、正確に、かつ大量に印刷することが必要です。レーザー加工機の導入でこれらを自社内で行うことが可能になりました。同時に小ロットでのオーダーにも対応できるようになり、ノベルティの依頼に幅広く対応できる体制が整いました。販路拡大に関しては、購入ターゲットが集まりそうな場所で最高の状態で見せることに注力した結果、認知度が高まり、受注が順調に伸びています。



Q2. 今後の課題はありますか？

A. モノのクオリティーやデザインの完成、そこからスタートライン。売れる仕組みや仕掛けが今後の課題。

Q3. 御社が大切にしていることは？

A. 心に豊かさを感じるモノづくりを大切にしています。



LOOK

今後の展望・活動予定

ものを売るためには、売り方・見せ方で検討し、売れるしくみづくりを確立する必要があります。当社は今後も全国の展示会に出展し、多くの人に見てもらうことで販路拡大を図ると共に、展示作業などで簡素化できる点がないか検討を進めていきます。NENRINの受注が増えていく中、5万円台・10万円台のさらに高額なノベルティの商品化も視野に入ってきました。企業には“製品”を作ることが求められますが、製作過程でめったに出ない木の色や柄に出会ったとき、それを他のものと同じ価格で販売することに疑問を感じています。絵や焼き物などの“作品”が1点ごとに価格が異なるように、企業として“作品”を製作販売することはできないのか、従来のあり方への挑戦を模索しています。

